

表 中国のロシア連邦に対する主な直接投資プロジェクト

分野	中国側	ロシア側	時期	投資額	概要
石油ガス	北京燃気集団	ロスネフチ	2016年11月	11億ドル	2016年6月のプーチン大統領の訪中の際の合意に基づき、ロスネフチと北京燃気集団(北京ホールディング傘下企業)はメドベージェフ首相と李国強國務院総理の隣席の下、ロスネフチ子会社ベルフネチョンスクネフテガスの株式20%を中国側への売却やガスビジネスにおける協力などについて合意。ベルフネチョンスクネフテガスの株式20%の基本価格は11億ドル。ベルフネチョンスクネフテガスは連邦的意義を持つとされているベルフネチョンスク石油ガスコンデンセート鉱区の開発権を有する。
	シルクロード基金	ノワテク	2016年3月	10億8,700万ユーロ	ヤマルLNGプロジェクトにおいてノワテクは株式9.9%をシルクロード基金へ売却。取引額は10億8,700万ユーロ。これにより、株主構成はノワテク50.1%、トタル20%、中国石油天然気集団(CNPC)20%、シルクロード基金9.9%となった。
石油化学	シルクロード基金	シブル・ホールディング	2016年12月	13億3,800万ドル	ロシア石油化学大手シブルホールディングは株式10%をシルクロード基金へ売却する契約を締結。取引額は13億3,800万ドル。
建設	中国黒竜江省政府	アムール州政府、モスト	2016年3月	188億ルーブル	ハルビンにてアムール州資産省が所有するモスト社と中国黒竜江省の橋梁建設企業が合弁会社アムール(黒竜江)を設立することで合意。ブラゴベシチェンスクと黒河との間のアムール川橋梁建設を行う。プロジェクト総額は188億ルーブルで、ロシア側が136億ルーブル、中国側が52億ルーブルを負担する。橋梁は1キロメートル弱。2019年に供用開始予定。第2段階としては、鉄道橋を建設する。
	中国水電、中国電力建設集団	ロスアフトル	2016年3月	550～640億ルーブル	中国水利水電建設集団(シノハイドロ)はロスアフトルとヤクーツクにおけるレナ河橋梁建設プロジェクトを実施する。プロジェクトは2022年までに実現する予定であり、主要な投資家は中国電力建設集団で、同社による投資額は550億～640億ルーブルになるとみられている。
農業	アジア太平洋食料基金運営会社	極東・バイカル地域発展基金	2016年4月	100億ドル	ロシアの極東・バイカル地域発展基金と中国のアジア・太平洋食料基金はロ中農業発展基金(RKFAR)の創設について合意。基金は100億ドルまでとし、第一段階で130億ルーブルを出資する(9割は中国の投資家が、10%はロシアの投資家が出資する)。加えて、極東・バイカル地域発展基金は51%の出資をRKFARより受ける。極東における農業実施のための土地はロシア企業しか取得することが出来ない。義務的条件として、①合理的かつ環境に優しい持続的な農地利用を可能とする最新の農業技術の使用すること。②新農業会社の労働者の8割はロシア国籍者とし、外国籍の労働者は2割以下にしなければならないこと。③農業プロジェクトの実施は、ロシアのサプライヤーが優先されること、が規定されている。極東で効果的な農業プロジェクトを行うロシア事業者はRKFAR側からのファイナンスを受けられる。プロジェクト総額の10%が基金より拠出され、10%は自己資金であり、残り80%は銀行融資でカバーされる。また、中国の銀行から最大で年率6%にて融資を受けることが出来る。
金融	ハルビン銀行、包商銀行、鄭州銀行、ハルビン銀行ファイナンシャルリーシング、阜新銀行、贛州銀行、九江銀行、濰坊銀行、新華信託、朝陽銀行	対外経済活動銀行(VEB)	2016年9月	100億元	東方経済フォーラムの枠内で、ロシアの対外経済活動銀行(VEB)と中国の銀行団(ハルビン銀行、包商銀行、鄭州銀行、ハルビン銀行ファイナンシャルリーシング、阜新銀行、贛州銀行、九江銀行、濰坊銀行、新華信託、朝陽銀行を含む)との間で、ロシア側に3年間で最大100億人民元のシンジケートローンの提供可能性に関する合意を締結。締結文書によると、融資資金は、特定の投資プロジェクトに紐づくものでなくてもよく、ロシア側銀行の幅広い投資・輸出プロジェクト(ロ中貿易経済協力における重要なプロジェクトを含む)に用いてよいことになっている。

(出所) 各種資料を基に作成。